

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 公益財団法人 操風会			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 703-8265 岡山市中区倉田 567-1					
本票作成	部署名 : 事務部 業務管理課									
主たる業種	分類コード	83	業種名	医療業						
事業の概要	医療業									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	岡山旭東病院			岡山市中区倉田 567-1					
	②	岡山リハビリテーション病院			岡山市中区倉田 503-1					
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)									

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分 20%以上 20~15% 15~10% 10~5% 5%未満 ○		
		<input type="checkbox"/> 原単位基準				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 3 年度)		目標年度 (令和 8 年度)			
	4,111 t CO ₂		3,904 t CO ₂			
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	基準年度 (令和 3 年度) の排出量			
	①	岡山旭東病院	3,441 t CO ₂			
	②	岡山リハビリテーション病院	670 t CO ₂			
			t CO ₂			
			t CO ₂			
			t CO ₂			
			t CO ₂			

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法に基づき、定期報告書、中長期計画書に沿って毎年1%削減達成を念頭に取り組み、温室効果ガスの削減に繋がる様に努める。特定事業者である岡山旭東病院のエネルギー削減に重きを置き、計画的な設備更新、省エネ啓発活動の実施により目標達成を目指す。

【目標削減率達成のための推進体制】

令和4年度、新たに1名がエネルギー管理員講習を終えましたので、今後は共にエネルギー管理に努めて参りたいと思います。また、令和3年度に導入致しましたデマンド監視装置の活用により、前年度に比べ最大需要電力の抑制を達成致しました。引き続きデマンドコントールを実施し、目標削減率達成に努めてまいります。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山旭東病院	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフルーム系統ヒートポンプエアコン(APF5.4)、西館2.3階空調全台、検査棟MRIエリア空調、医局空調を高効率タイプへ更新 ・換気設備56台更新 ・毎年ダウンライト120台、蛍光灯タイプ6台程度をLEDタイプへ更新 ・デマンド監視装置設置 ・グループウェア、院内広報誌による情報発信、省エネ啓発活動 ・クリーニングタワー清掃を定期以外にも適宜実施し冷却水の濃縮管理
岡山リハビリテーション病院	<ul style="list-style-type: none"> ・全館照明837台をLED照明へ更新 ・ビルマル空調機36台の基盤を省エネ制御タイプへ、コンプレッサーをレトロフィット用省エネタイプへ更新 ・毎月エネルギー使用量の把握、分析会議、省エネ啓発活動

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山旭東病院	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視装置の有効活用 ・手術室1~4、DSA室照明のLED化、共用部ダウンライトのLED化(年間120台程度) ・コーディネレーション設備更新(エネルギー診断により現状の熱主より電主に変更する事によりピーク電力削減効果増大、省エネ効果アップ) ・院内設備中長期計画の見直し(高効率機器選定の見直し) ・節電エリアの見直し、改善 ・給湯、ウォシュレット便座、空調設備の運用方法の見直し、改善 ・各媒体による電気使用量等の情報発信の継続、省エネ啓発活動 ・電力会社や病院協会等が行うセミナーを積極的に受講し、最新の動向や知識の習得を行う
岡山リハビリテーション病院	<ul style="list-style-type: none"> ・5ヵ年計画で個別空調機82台を順次更新 ・デマンド監視装置の導入、運用 ・毎月エネルギー使用量の把握、分析会議、省エネ啓発活動

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

省エネ法でも大変苦慮致しましたが、感染対策として行われる換気、休憩や食事時間の分散など、空調、照明設備の稼働時間の増大、負荷の増大が発生しています。また、気象状況の変化(異常気象)なども大きなマイナス要因となっています。

その為、省エネ法をはじめ、エネルギー削減目標の達成が非常に困難な状況となっています。今後も感染対策の大きな緩和は期待できないと考え、目標削減率達成のため計画されている措置を中心に、隨時対策及び対応に邁進致します。